



はるにれ

学校教育目標

夢をもって未来を切り拓く 調和のとれた子どもを育てる

海老名市立有馬小学校 学校だより
令和2年1月31日号

校長 村松 かおり

挨拶から始まるコミュニケーション

新学期がスタートして1か月。今のところインフルエンザも小康状態を保ち、3学期の様々な活動が予定通り進んでいます。

学期初めの集団登校の時期には、保護者の皆様に所要所で立哨をしていただきました。寒い中、早朝より見守っていただき大変ありがとうございました。

有馬小の3学期の重点生活目標は、「自分からあいさつしよう」です。始業式でも「**あ**かるく **い**つでも **さ**きに **つ**たえる」と、言葉を通して気持ちを伝える挨拶の大切さに触れたところです。声を揃えた全体での挨拶に比べ、個々の判断やタイミングで行う場面では、まだまだ「自分から」「元気に」とならない児童も見受けられます。校外でも、関わってくださる方への感謝を込めて、気持ちの良い挨拶が自発的にできるようになってほしいと願い、今後も働きかけてまいります。ご家庭や地域でも後押ししていただけるとありがたいです。



ゆるやかなつながいを基に

有馬中学校校区では5年前から「人のつながり」と「学びのつながり」を創ることを柱として、各校の既存の活動を活かしながら小中一貫教育の取組を少しずつ進めています。

算数と数学の学習領域の継続性を意識した有馬中望月先生の授業は、小学校での学びが無理なくつながるよう工夫されたものです。



3小学校の6年生全員が、同一内容の授業を経験し中学に入学することの効果も見込まれています。

秋には連合運動会前に、体育科の先生にハードル走や高・幅跳び、ソフトボール投げのコツやリレーのパスワークを教えてくださいました。また、中学3年生の合唱祭りハーサルを見学したことは、学習発表会へ向けて意欲の高まりにもつながりました。

児童会運営委員が有小卒業生である中学生と一緒にいったあいさつ運動では、知った顔を見つけて嬉しそうに挨拶し合う姿も見られました。小中連携を活かした体験が、成長していくことへの期待感や意欲の高まりにつながるよう願っています。



2月の主な行事予定



- 3日(月) 朝会
- 4日(火) 6年校外学習(中河内保育園)
- 5日(水) 1年昔遊び PTA 新地区常任委員予定者会
- 7日(金) ひまわり級4校合同お別れ会
6年プログラミング授業
- 10日(月) 体育朝会(なわとび)
- 12日(水) クラブ活動
- 13日(木) 有馬中2年職場体験(～14日)
- 14日(金) ありまっ子応援団運営委員会
3・4年・ひまわり級授業参観・懇談会
- 17日(月) 5・6年授業参観・懇談会
- 18日(火) 代表委員会
- 19日(水) 1・2年授業参観・懇談会 普通日課清掃あり
- 21日(金) 1年みのり幼稚園との交流会
- 25日(火) 学校運営協議会
- 26日(水) 小中連携授業参観 普通日課5時間清掃あり
- 27日(木) 卒業式合同練習①



- ★学校訪問相談 4日(火) 19日(水) 28日(金)
- ★朝の読み聞かせ(水曜日) 12日・19日・26日

集中と緊張の書き初め大会

3学期早々書き初め大会が開かれ、その後の書き初め展には学校1日開放日と併せ多くの方に足を運んでいただきました。ご家庭では冬休みの練習へのご支援もありがとうございました。

大会当日、体育館に広がった3～6年生は直しがきかない緊張感の中、条幅紙のサイズに負けないように文字の大きさや配置を考えながら、堂々と書き進めていました。低学年の硬筆作品も、お手本をよく見て一点一画を大切に仕上げた跡が窺える、力のこもった仕上がりでした。

集中して丁寧に書く習慣は、文字を正確にとらえて書く基礎・基本の力にもつながります。日常的に使う筆記用具は違っても、体験を生かしてほしいと思っています。

